

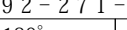
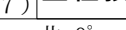
ボーリング柱状図

調査名 西片江493号線地質調査業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No.4			調査位置	福岡市城南区西片江2丁目地内					北緯	33° 32' 34.2"			
発注機関	福岡市城南区地域整備部地域整備課				調査期間	平成 23年 11月 18日 ~ 23年 11月 19日				東経	130° 21' 47.0"			
調査業者名	九研地質株式会社 電話 (092-271-4027)			主任技師	山之内 洋伸		現場代理人	石崎 陽	コ鑑定者	隈本 良介		ボーリング責任者	田中 克博	
孔口標高	+40.04m	角 度		方 向		地盤勾配		使用機種	試験機	東邦D0-D号		ハンマー落下用具	コーンプーリー	
総掘進長	8.00m								エンジン	NFD-10		ポンプ	BG-3C	

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験						原位置試験		試料採取			室内試験()	掘進月日
											深度 (m)	10cmごとの打撃回数			打撃回数／貫入量(cm)	N 値	深度 (m)	試験名 および結果	深度 (m)	試験番号	採取方法		
												0 ～ 10	10 ～ 20	20 ～ 30									
						淡褐		非常に緩い	やや含水の多いシルト質細～粗砂にて構成される盛土。 上部30cmはシルト分多い。 φ30mmの碎石含む。		1.15 1.45 2.15 2.45 3.15 3.45 4.15 4.45 5.15 5.25 6.00 6.13 7.00 7.08 8.00 8.03	1 15 2 15 4 4 13 13 50 50 50 13 50 8 50 3	1 15 2 15 4 4 13 13 50 50 50 13 50 8 50 3	2 30 6 30 14 30 150 115 188 500				1.15 1.45	P-1		物理	11/18 11/19	
1					盛土(シルト質砂)	淡褐																	
2	37.84	2.20	2.20																				
3					強風化花崗岩	淡褐			辛うじて岩組織を残す強風化部。 シルト化著しく、指圧でシルト質細砂状となる。 所々に礫状コアを挟むが、指圧で容易に細礫状に解れる。														
4																							
5	35.04	2.80	5.00																				
6					風化花崗岩	淡褐灰			深さ7.3mまでは土棒状コアをなし、指圧で亀裂から脆い岩片状に碎ける。 深さ7.3～8.0m間は、硬質岩片コア、土棒状コアを交互に挟む。 深さ6.8m付近に70°亀裂あり。														
7																							
8	32.04	3.00	8.00																				
9																							
10																							

- ・本資料は、工事等により現況と整合しない場合があります。現在の位置関係や地質状況などを特定するものではありません。
- ・本資料は、参考データとして利用し、現在の地質状況は、再度ボーリングを行う等して確認をお願いします。